

個人投資家様向け説明会

2015年5月24日



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

証券コード：8732



- I. FX取引について
- II. マネーパートナーズグループのご紹介
- III. 当社グループの収益構造、特徴と強み
- IV. 業績の推移
- V. 経営戦略
- VI. 当社の株主還元について

参考資料

I. FX取引について





FX取引とは①

Money Partners Group

◆ FXは“foreign exchange”（外国為替取引）の略称

FX、外貨両替とも、外国為替相場の動きを利用して利益を得ることが可能

①1ドル=100円の
ときにドルに交換

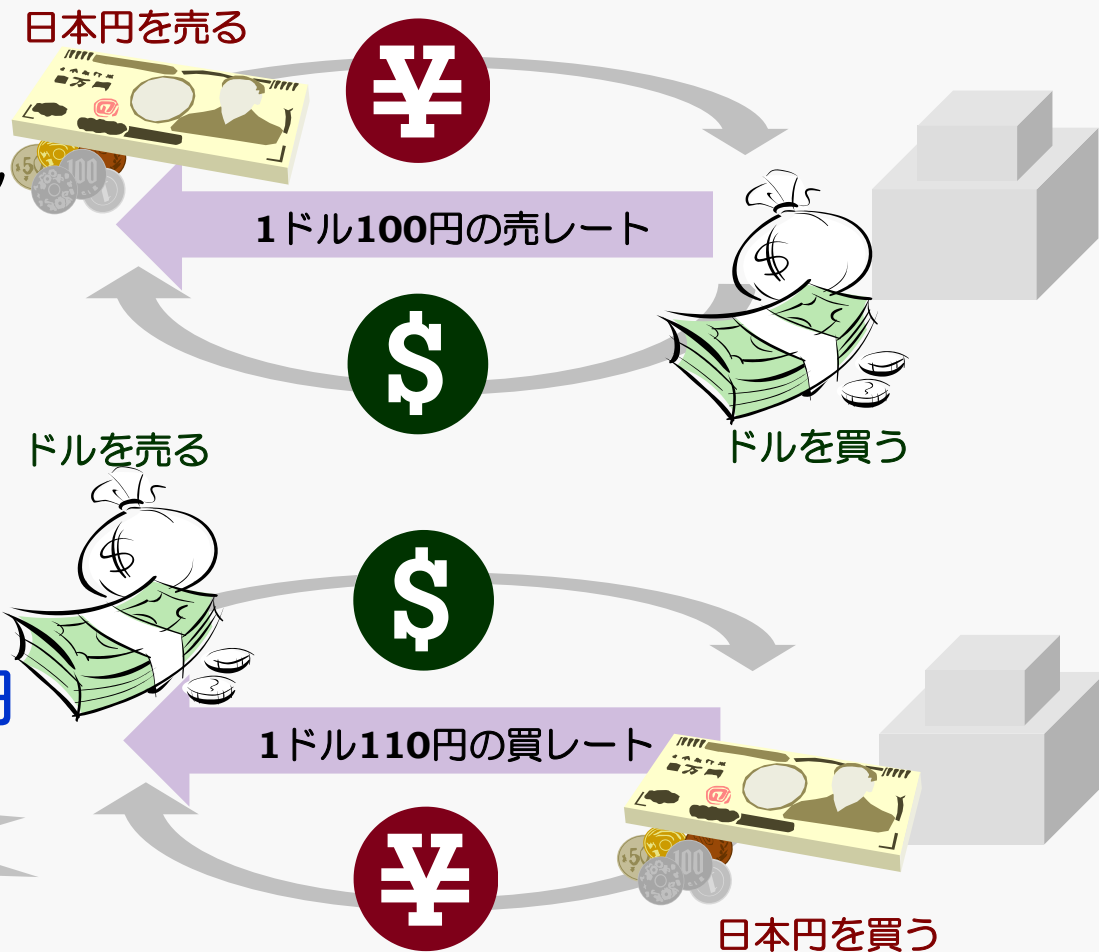
100万円⇒1万ドル

相場変動（円安）

②1ドル=110円の
ときに円に交換

1万ドル⇒110万円

10万円の為替利益





FX取引とは②

Money Partners Group

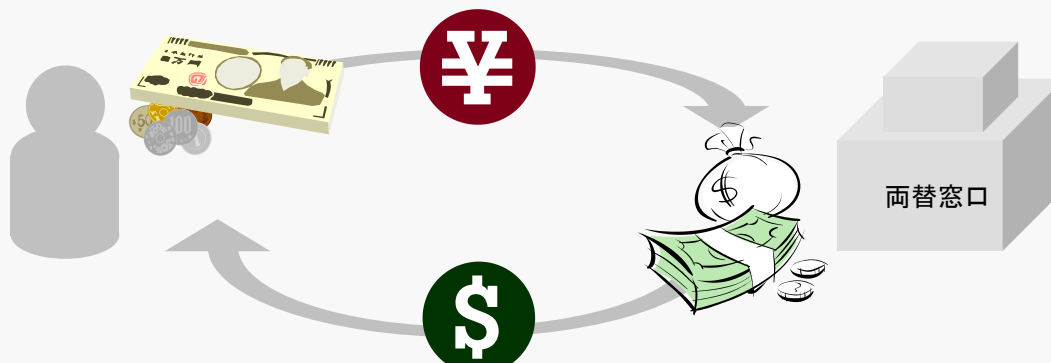
◆ FXと外貨両替の違い

FXは、現物（通貨）の受け渡しのタイミングを選べる

外貨両替

その場で受け渡し

日本円を売る→日本円を支払う



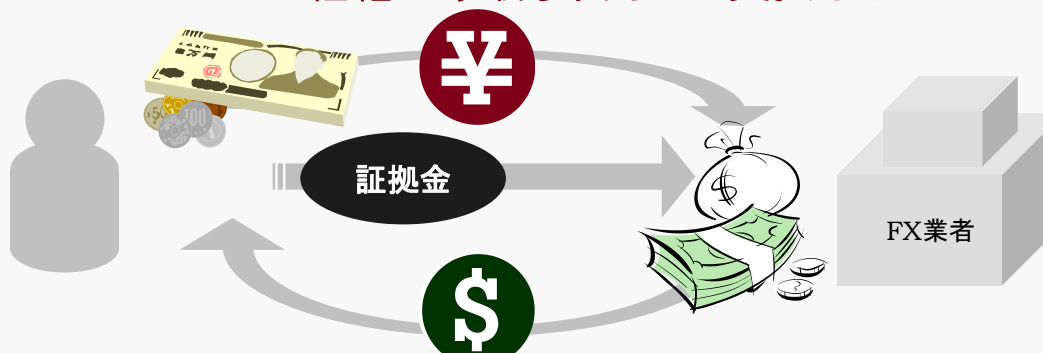
ドルを買う→ドルを受け取る

日本円を売る→価格のみ取り決めて、支払は希望の時期まで保留

FX

受け渡しはその場で行わない
(無期限延長可)

証拠金（手付金）を預託する



ドルを買う→受け取りは希望の時期（代金支払い時）まで保留



◆ FXの特長

■ 割安な取引コスト

お客様への提示レートが市場の相場と連動することから、外貨両替等1日に1回のレート提示を行う場合と比べ業者にとっての市場変動リスクがほぼゼロになるため
お客様にとって有利なレート提示が可能に

外貨両替

売値と買値の差 . . . 5~6円



1万ドルを買ったときのコスト
=2万5,000円~3万円

FX

売値と買値の差 . . . 0.5銭



1万ドルを買ったときのコスト
=25円



◆ FXの特長

■ スワップポイント

現物の受け渡しを行う（もしくは反対売買による決済）までの間、買い通貨と売り通貨の金利差をスワップポイントの受け渡しにより日々調整
 →金利の高い通貨（ex.豪ドル）を買い、金利の低い通貨（ex.円）を売った場合、金利差に相当する収益を受け取ることができる

外貨両替

FX

現金のため利息等は付かない

高金利通貨の例・・・

豪ドル/円 1万ドル（想定元本約96万円）あたりの買建スワップポイント

パートナーズFX 52円/日・・・年間約2.0%相当

パートナーズFX nano 55円/日・・・年間約2.1%相当

※上記はいずれも2015年5月15日現在



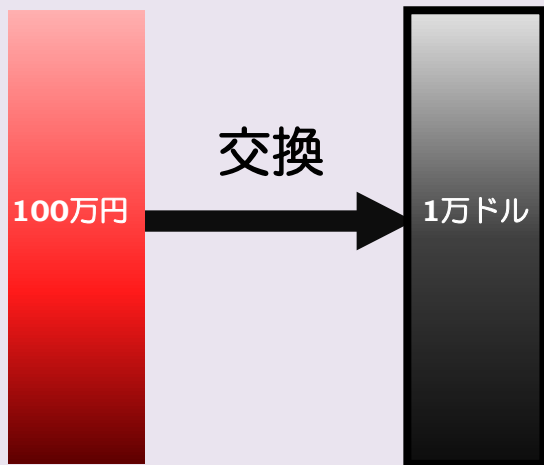
◆ FXの特長

■ 高い資金効率

現物の受け渡しを別にする、取引に必要な資金は手付金（証拠金）のみ
(必要証拠金は、取引総額に対して最小4%＝レバレッジ最大25倍)

1ドル＝100円の時に1万ドル投資する場合

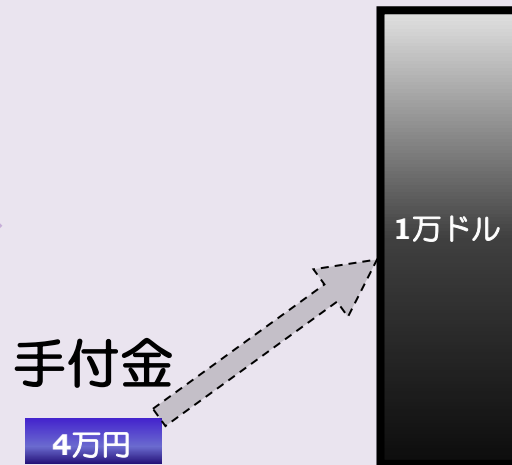
外貨両替



1万ドルと交換するため100万円が必要

FX

リスク・リターンは同じ



証拠金（手付金）最小4万円から取引可能



FX取引の金融商品としての制度整備

【税制優遇】

平成23年度税制改正（うちFXに関連する部分）

「申告分離課税の適用（一律20%）」 「繰越損失控除が3年間可能に」



金融商品としてのメリットUP

【投資家保護】

レバレッジ規制
過大な取引を抑止
(証拠金の25倍まで)



ロスカット
ガイドライン制定
損失を限定



顧客預り資産
の信託義務
資産の安全性確保

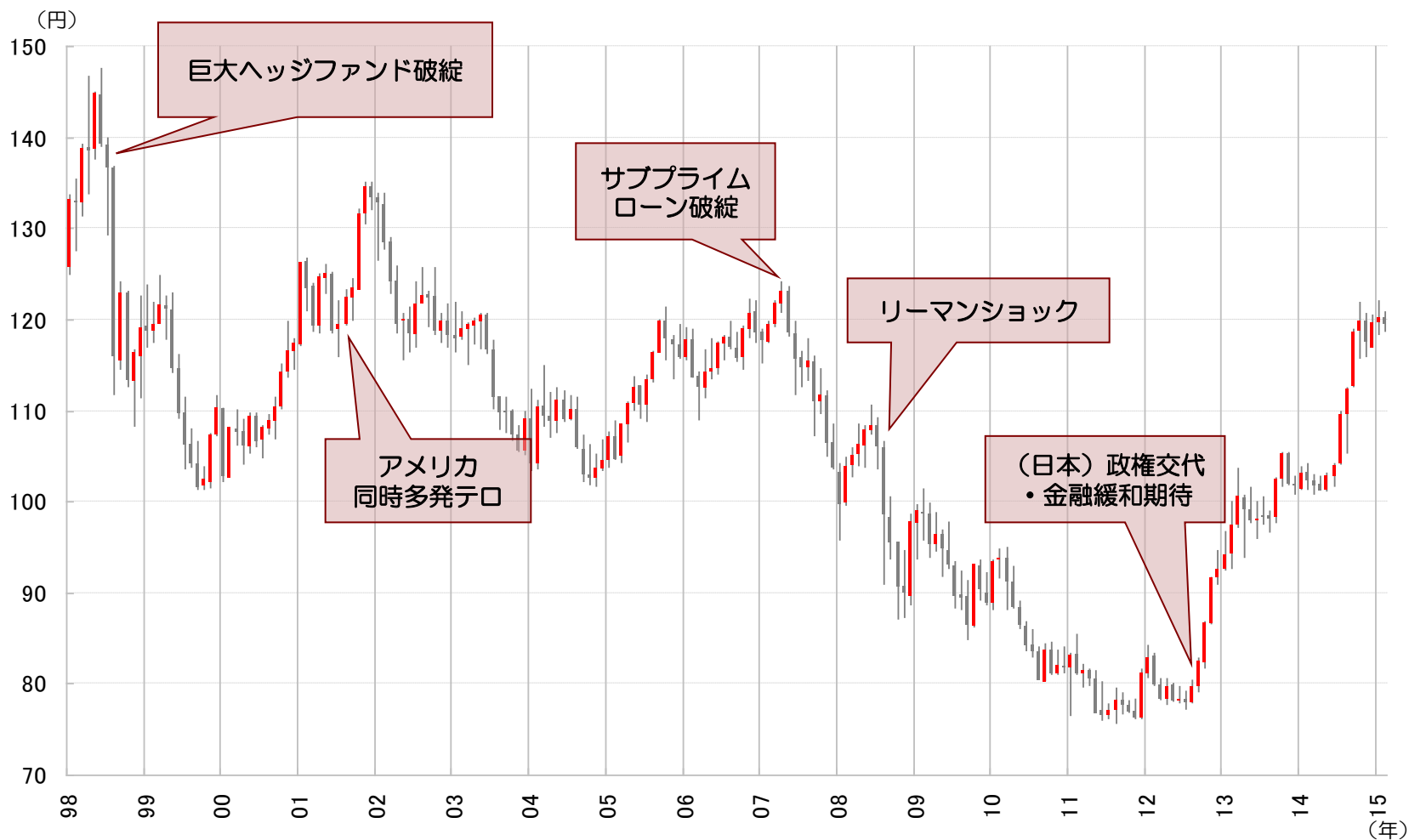


透明化・健全化の更なる進展



外国為替相場の状況（ドル／円相場の推移）

Money Partners Group



外為市場では2012年の政権交代を機に2007年夏以来の円高トレンドが終焉し円安トレンドに転換



FX取引の市場規模について①

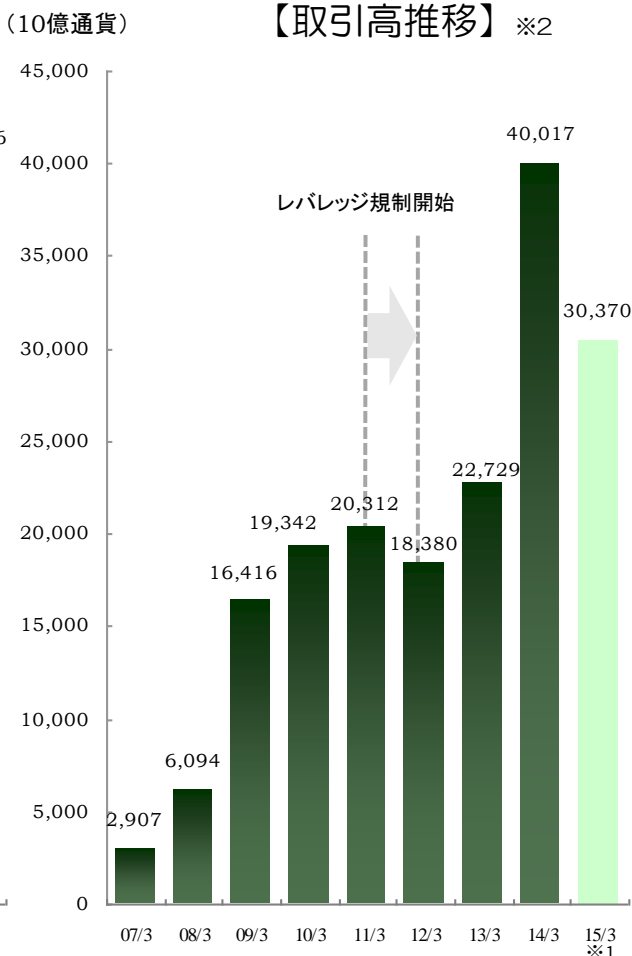
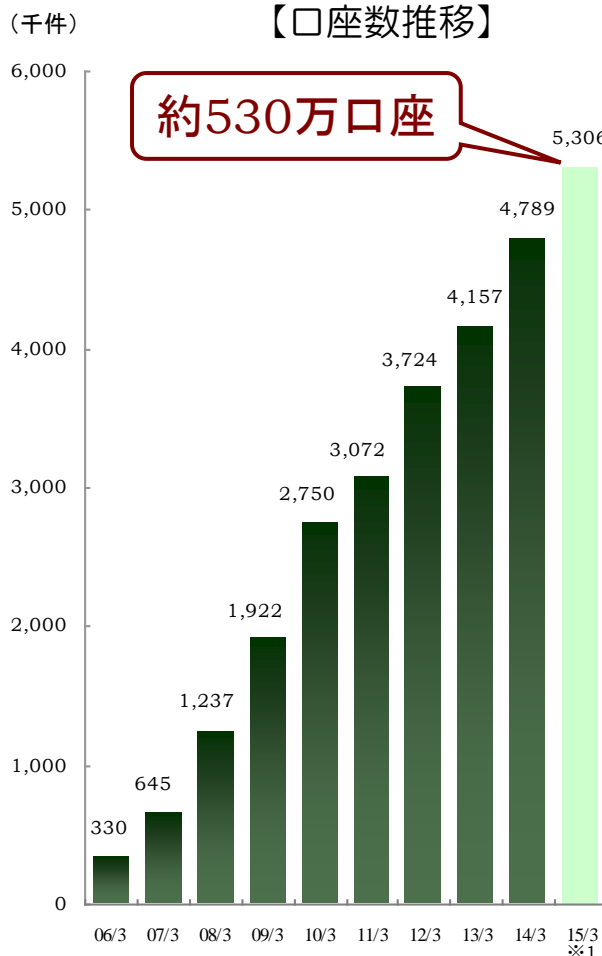
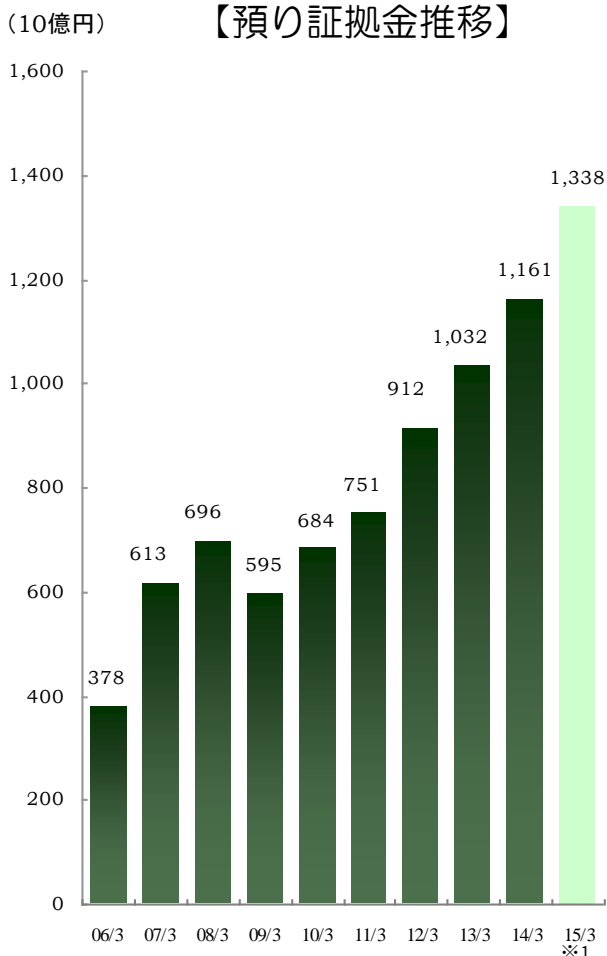
Money Partners Group

取引高についてはレバレッジ規制により減少する局面はあったものの、
金融商品としての認知度の向上等によりFX市場は順調に拡大

【預り証拠金推移】

【口座数推移】

【取引高推移】※2



矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成

(※1) 矢野経済研究所「FX(外国為替証拠金取引)の動向調査結果 2014」より当社作成のため、15年3月期の数値は実数ではありません。

(※2) 対象は店頭取引のみ。10年3月期以降の取引高推移は金融先物取引業協会の統計情報から作成。

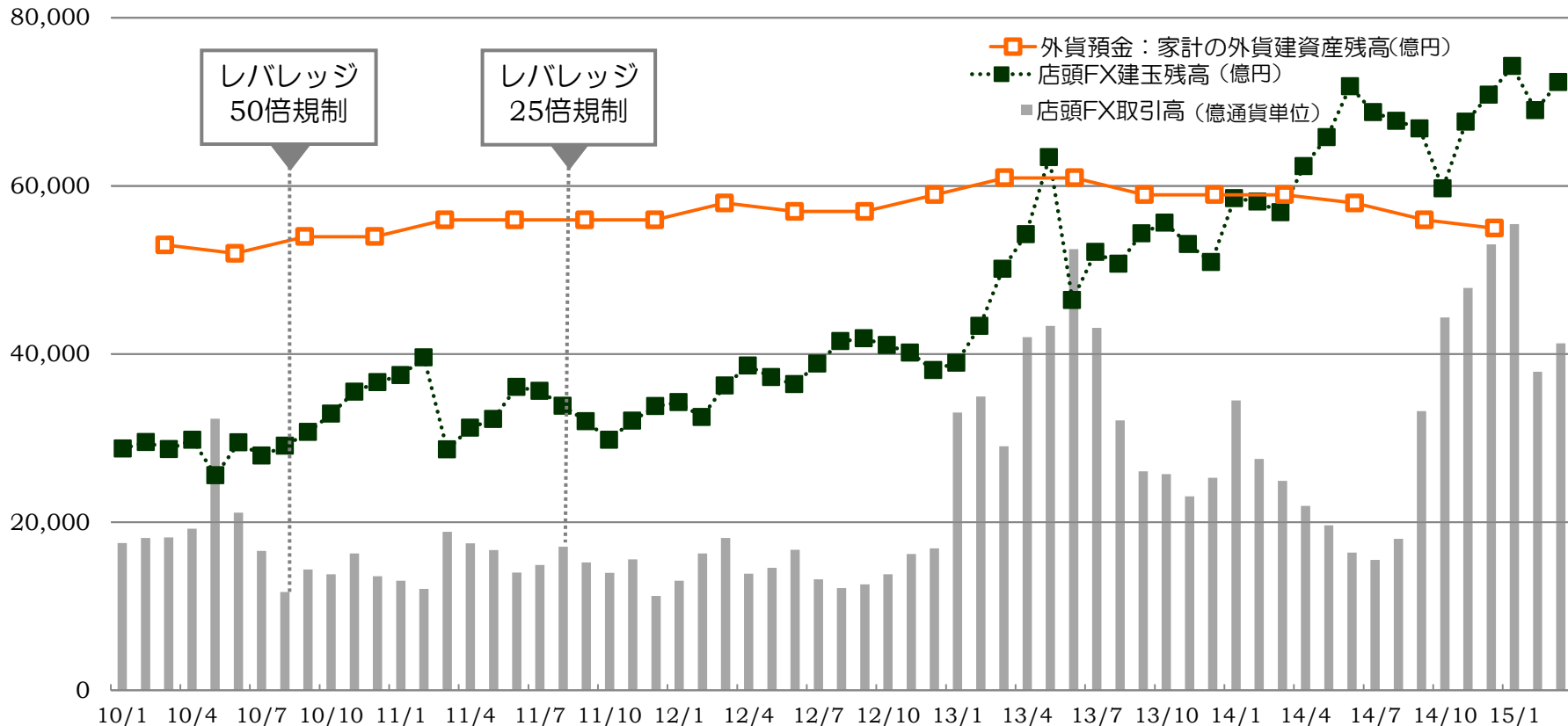


FX取引の市場規模について②

Money Partners Group

■ 店頭FX建玉残高（※）及び店頭FX取引高の推移 ※買建玉と売建玉の合計（投資残高に相当）

（億円／億通貨単位）



※日本銀行統計時系列統計データ及び金先協会統計資料より当社作成

取引高（フロー）は外国為替相場の状況に左右されるものの、
建玉残高（ストック）は堅調な成長により外貨預金残高（家計部門）を上回る。



FX取引の市場規模について③

パスポート（一般旅券）発行数
(2014年1月～12月累計)

321万件

パスポート有効旅券数
(2014年12月31日現在)

5年旅券 748万人分
10年旅券 2,335万人分

計 3,083万人分

※外務省「旅券統計（平成26年1月～12月）」より当社作成

【日本人海外旅行者数の推移】



FX取引の潜在顧客となりうるユーザーは、約3,000万人以上
FXの透明化・一般化が進めば、FX市場の成長も加速



2014年9月 海外専用の多通貨対応プリペイドカード 「Manepa Card」 (マネパカード) サービス提供開始

「Manepa Card」は、当社グループの外貨実需に対応したサービスの核となる戦略商品。

今後、「Manepa Card」を収益事業として育成。



「Manepa Card」の詳細は21ページをご覧ください。



外国為替相場等市況の影響

市況とは独立した需要

外貨決済サービスの事業化により安定した収益基盤の確立を

Ⅱ. マネーパートナーズグループのご紹介





FX業界におけるパイオニア

- 1999年10月、FX取り扱い業務を開始した、日本におけるFX取引のパイオニア的存在
- 2005年6月、ネット企業のインキュベーションにより、FX専門会社として独立
（その後、2008年10月に持株会社体制へ移行。吸収分割により、全事業を新設会社である「マネーパートナーズ」に承継し、当社は「マネーパートナーズグループ」に商号変更）

FX専業業者で東証一部上場第1号

- 2007年6月、大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」市場（※現東証JASDAQ市場）にFX専業業者として初の上場を実現
- 会社設立から2年での上場はヘラクレス市場最短記録（当時）
- さらに2012年5月東証二部へ上場、2013年5月東証一部へ指定変更

FX業界最大手の一角

- 顧客口座数約25万口座、預り証拠金約479億円（2015年3月末現在）
- 上場FX業者としては国内トップ、未上場を含めたFX業者の中でもトップクラス



会社ロゴ



社是

DON'T STOP!

とめない、とまらない。

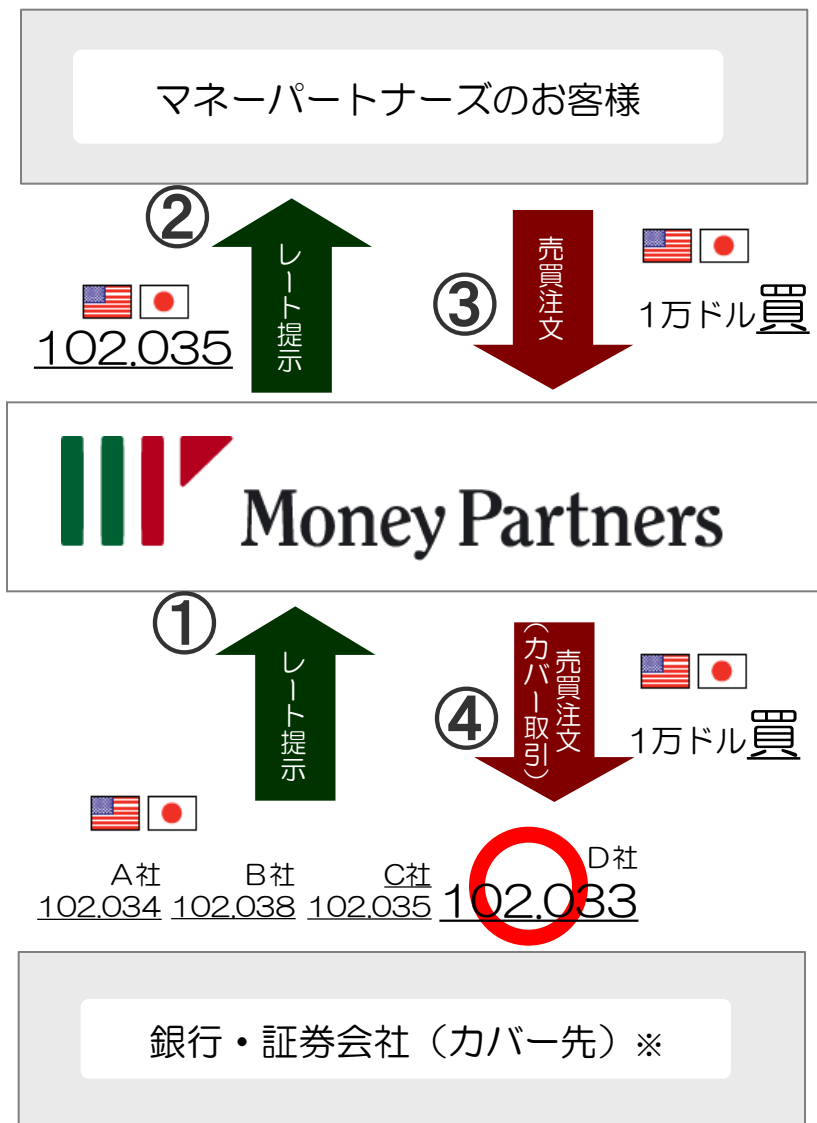
Ⅲ. 当社グループの収益構造、特徴と強み





当社グループの収益構造

Money Partners Group



- ① 複数の銀行・証券会社（カバー先）よりレート提示を受ける
- ② お客様へレートを提示する
- ③ お客様からの売買注文を受ける
- ④ お客様からの売買注文を、銀行・証券会社（カバー先）へカバーする

お客様との取引レートとカバー先との取引レートの差額が収益

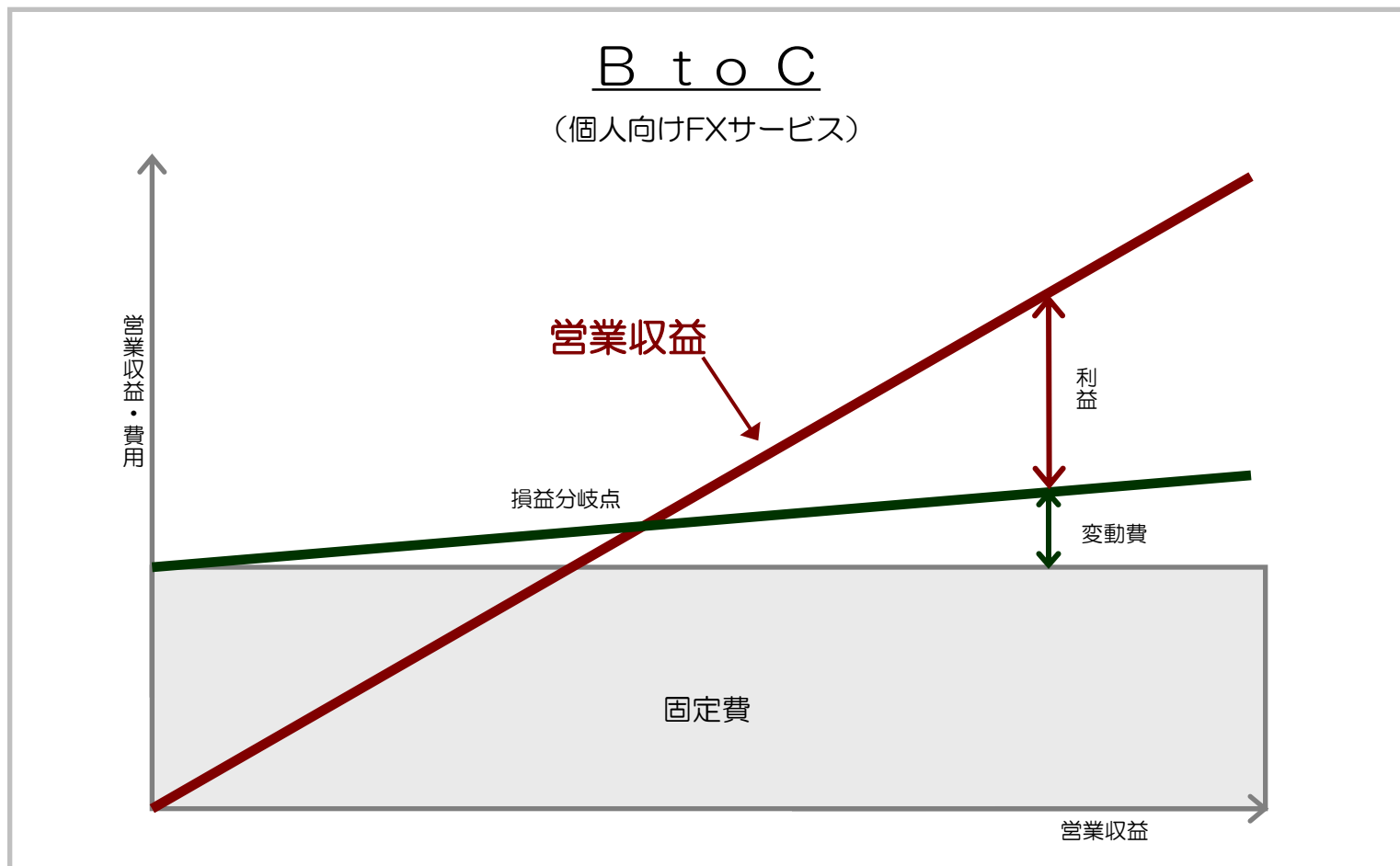
$$102.035 - 102.033 = 0.002\text{円}$$

$$1\text{万ドル} \times 0.002\text{円} = \mathbf{20\text{円}}$$

※ドイツ銀行、パークレイズ銀行、大和証券、UBS銀行等、計16社



当社グループの基本的な利益構造



※上記のほかに金融機関向けFXサービス等からの収益（B to B）もあります。

変動費の割合が小さく、損益分岐点を越えた後は営業収益に比例し利益も大きくなる。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

マネパカードはマルチカレンシーの海外専用プリペイドカード

海外旅行先のATMで
現地通貨のお引き出し



マスターカードの使えるお店で
ショッピング&グルメ



1枚で5通貨

1枚のカードで米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、香港ドルの5通貨をチャージOK!

クレジットカード手数料の 実質半額!

今なら手数料相当分キャッシュバック!
最大4ヶ月、実質手数料無料になります!

16歳から 使える

日本にお住いの16歳以上の方であれば
原則どなたでもお持ちいただけます。

外貨両替「日本最安」 マネパだから

外国為替の専門家、マネーパートナーズ
だから実現できるサービスです!

安心サポート 24時間365日

盗難や紛失はサポートデスクにご連絡
いただければ、その時点の残高を保障!

年会費無料

カードショッピング保険も付帯して、
年会費は永年無料!費用はかかりません!



日本 最安



お得で便利! マネパの
外貨両替・受取サービス



利用者急増中!

成田・羽田・関空・セントレア

空港で外貨を受取れます!

主要通貨の受取可能! 圧倒的な低コストを実現!

(外貨受取サービス
対応通貨)



米ドル **93% OFF**



ユーロ **95% OFF**



英ポンド **98% OFF**



スイス
フラン **95% OFF**



韓国
ウォン **30% OFF**



中国元 **30% OFF**

上記以外の通貨も今後追加を予定。



小売業やサービス業等のリアル店舗への支援活動を推進

外貨紙幣の取扱いを 始めてみませんか?



2020年の東京オリンピック開催に向けて、今後、外国人観光客のさらなる増加が見込まれています。

外貨紙幣での支払いを受け入れることで、「国際観光都市浅草」をアピールし、外国人観光客が親近感、安心感を持って立ち寄れる雰囲気を作ることができます!

**We accept
USD & EUR here!**
(bills only)

外貨紙幣使えます!

マネーパートナーズ

テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」等メディアに取り上げられ大反響
浅草商店連合会等と提携し、新たなブランディングチャネルを開拓。



差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 証拠金100円から！『パートナーズFXnano』

商品性を改良しビギナー層向け施策に注力した新しい「nano」
米ドル円スプレッド0.3銭など業界最安水準を実現



マネーパートナーズは少額FX取引の元祖！！

取引ツールとの連動

[[[[nano

HyperSpeed Touch nano

『クイック発注ボード』

『HyperSpeedTouch nano』



◆ 『証券取引、代用有価証券サービス』

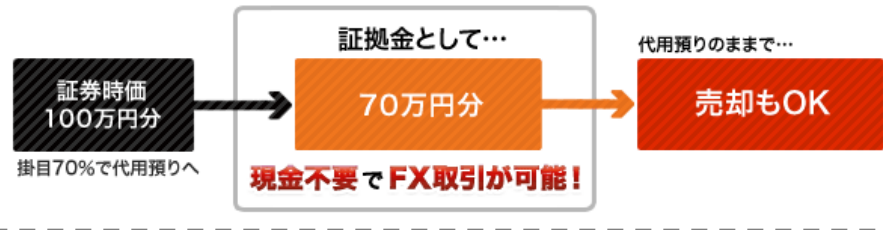
売却手数料が**完全無料**でお取引いただけます。
保有株式を代用掛目70%で評価し、**現金不要（株式だけ）**でFXがお取引いただけます。

ここがスゴイ！ マネパの証券取引

預けた株が証拠金！ **現金不要でFX取引可能!** 掛目 70%

手数料がダンゼンお得！ **売却手数料が完全無料** 約定代金に関わらず 0円

代用有価証券を使ったFX取引のイメージ





差別化商品・サービス

Money Partners Group

◆ 公正かつ透明性の高いサービス (FX)



マネーパートナーズは、すべらない！
6年連続「約定力」No.1
(株) 矢野経済研究所実施の「FXサービスパフォーマンステスト」において

FX取引において重要とされる注文の約定についての主要業者を対象とする調査の結果、約定価格の公正性・透明性において6年連続で最も高い評価をいただきました。

◆ 金銀の取引サービス

取引ルールはFXとほぼ同じ！
簡単取引で**収益チャンス大!**

ボラティリティが魅力の金・銀取引

証拠金 1,050円から!

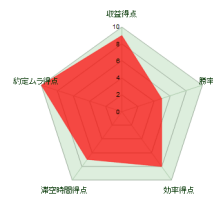
金銀取引のススメ



◆ 『トレードレポート』

トレードの通信簿で、あなたの投資が進化する!

取引スタイル ... トレンドタイプ



約定結果

約定仕数	初期仕数	約定数量
149件	3,189,259円	8,780万通貨

- 収益得点 【9点】

収益率	17%	損失
0.408	6,176,400円	-4,842,600円
- 開始仕玉/決済利益

開始仕玉/決済利益	終了仕玉/決済利益	増減/決済利益
0円	369,600円	1,703,400円
- 勝率得点 【5点】

勝率	勝率約定得点	負け約定得点
45%	67%	78%
- 効率得点 【8点】

収益/約定仕数(約定)	勝率約定数量	負け約定数量
1.48:1	4,020万通貨	4,880万通貨
- 深空時間得点 【7点】

平均深空時間	深空時間(勝ち)	深空時間(負け)
3時間43分40秒	48時間32分47秒	3時間44分58秒
- 約定入寸得点 【10点】

約定数量/入寸	最大約定数量	標準偏差
0.00	60万通貨	0.00

● アドバイス
利銀、金に比べて変動が大きく、リスクは取る程度で設定されています。また1回以上の注文数量も比較的多くあり、リスクが把握、やみくもな注文でもありません。複数のトレード手法も同時に、同時に複数通貨を動かすことも、引き継ぎ安定した収益を目指してご活用ください。

掲載されているトレードレポートの内容は、ある一定期間においてお客様の行った実際の取引結果に基づいて作成したものです。[取引スタイル]や[アドバイス]はあくまで、一般的な投資家に対する参考情報であり、個別の投資家の状況や性格、リスク許容度、資金状況等に左右され、必ずしも当てはまるとは限りません。また、過去の取引結果は必ずしも今後の取引結果を保証するものではありません。実際の取引における最終判断は、お客様自身で行ってください。

勝つためのトレードスタイルやトレード手法を勉強できます!

多角的な観点から分析! 客観的な数値データを提供 第三者視点でのアドバイス掲載

IV. 業績の推移





■ 最近5期のP/L主要数値推移

単位：百万円

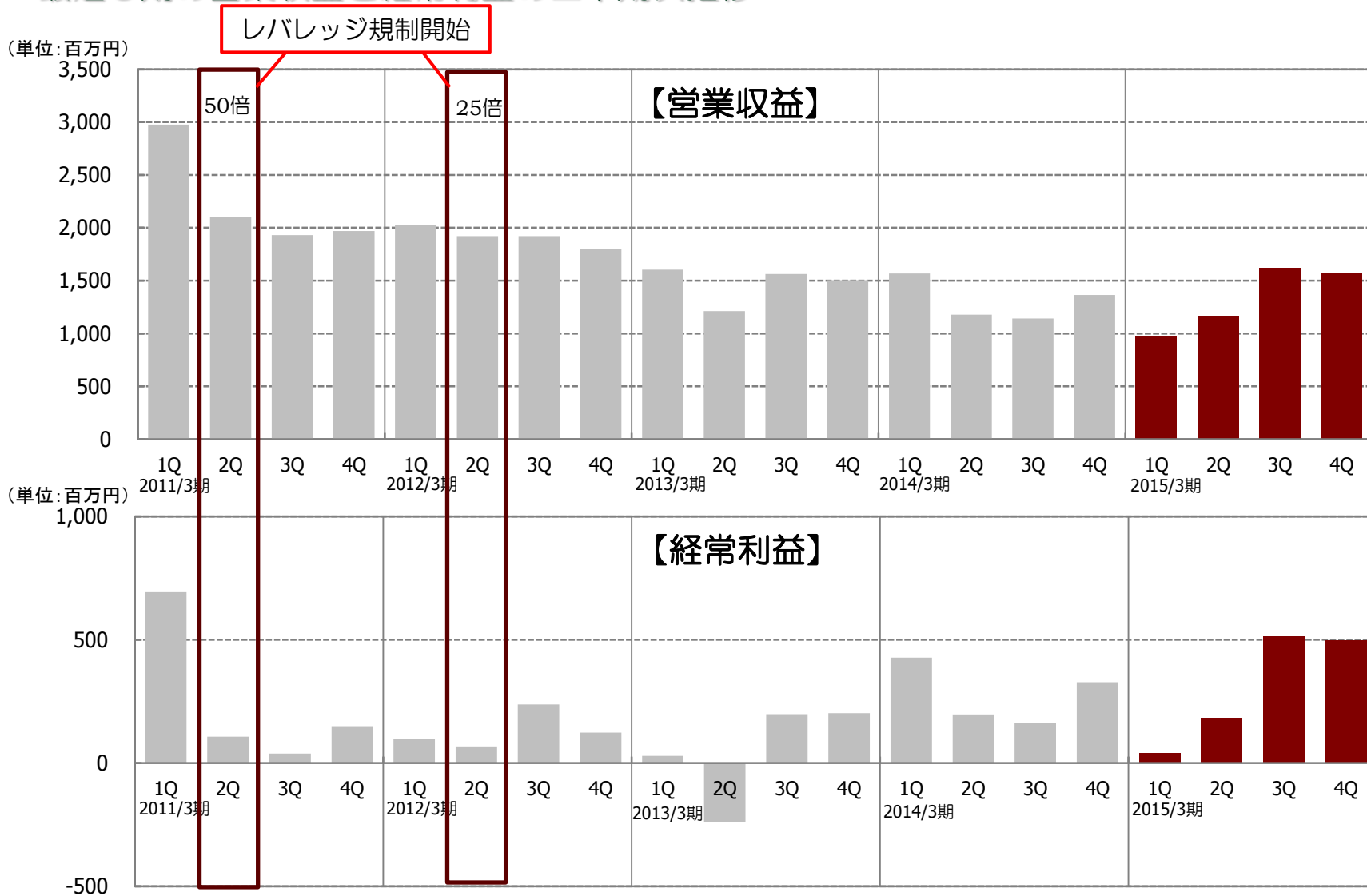
	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	前期比 増減率
営業収益	8,981	7,671	5,885	5,257	5,324	1.3%
受入手数料	3	13	27	10	13	34.0%
トレーディング損益	8,912	7,616	5,817	5,231	5,275	0.8%
金融収益	21	16	17	12	13	10.6%
その他の売上高	44	25	23	3	21	495.5%
金融費用	22	144	88	67	74	11.7%
売上原価	28	13	23	1	1	5.9%
純営業収益	8,930	7,513	5,782	5,189	5,248	1.1%
販売費・一般管理費	7,914	6,963	5,458	4,090	4,055	▲0.8%
営業利益	1,015	549	323	1,098	1,192	8.5%
経常利益	990	527	312	1,115	1,235	10.8%
税金等調整前四半期純利益	887	542	192	1,092	1,223	12.1%
四半期純利益	515	337	95	663	780	17.6%
営業収益経常利益率	11.0%	6.9%	5.3%	21.2%	23.2%	
自己資本当期純利益率	5.5%	3.5%	1.0%	6.6%	7.3%	

2011/3期～2013/3期：2011/3期、2012/3期の2度にわたるレバレッジ規制と、業界内の競争激化によりトップラインの低下。

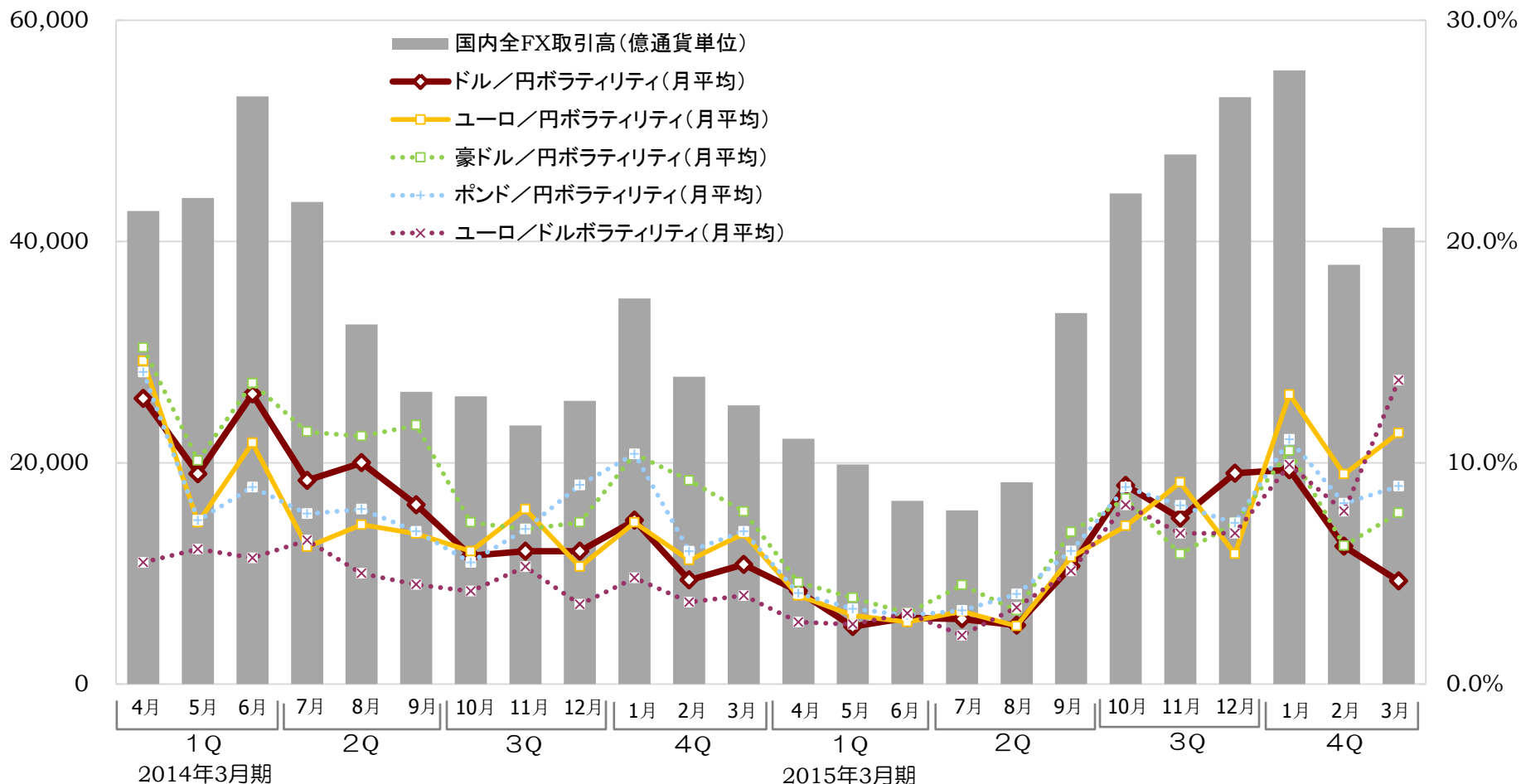
2014/3期～2015/3期：2013/3期に新システムを導入し、収益性の向上・コストの大幅見直しを実施した結果、業績は右肩上がりに。



最近5期の営業収益と経常利益の四半期次推移



取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



FX取引高は外国為替相場の状況に影響を受け、特にボラティリティとは強い相関関係
 2015/3期の外国為替相場は、上期に歴史的とも言える低ボラティリティを経験したのち、下期には日銀の金融緩和等による急ピッチな円安によりボラティリティが回復。

V. 経営戦略





当社グループの基本戦略

重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大と収益化
- 顧客基盤の多様化と収益率の更なる向上

収益

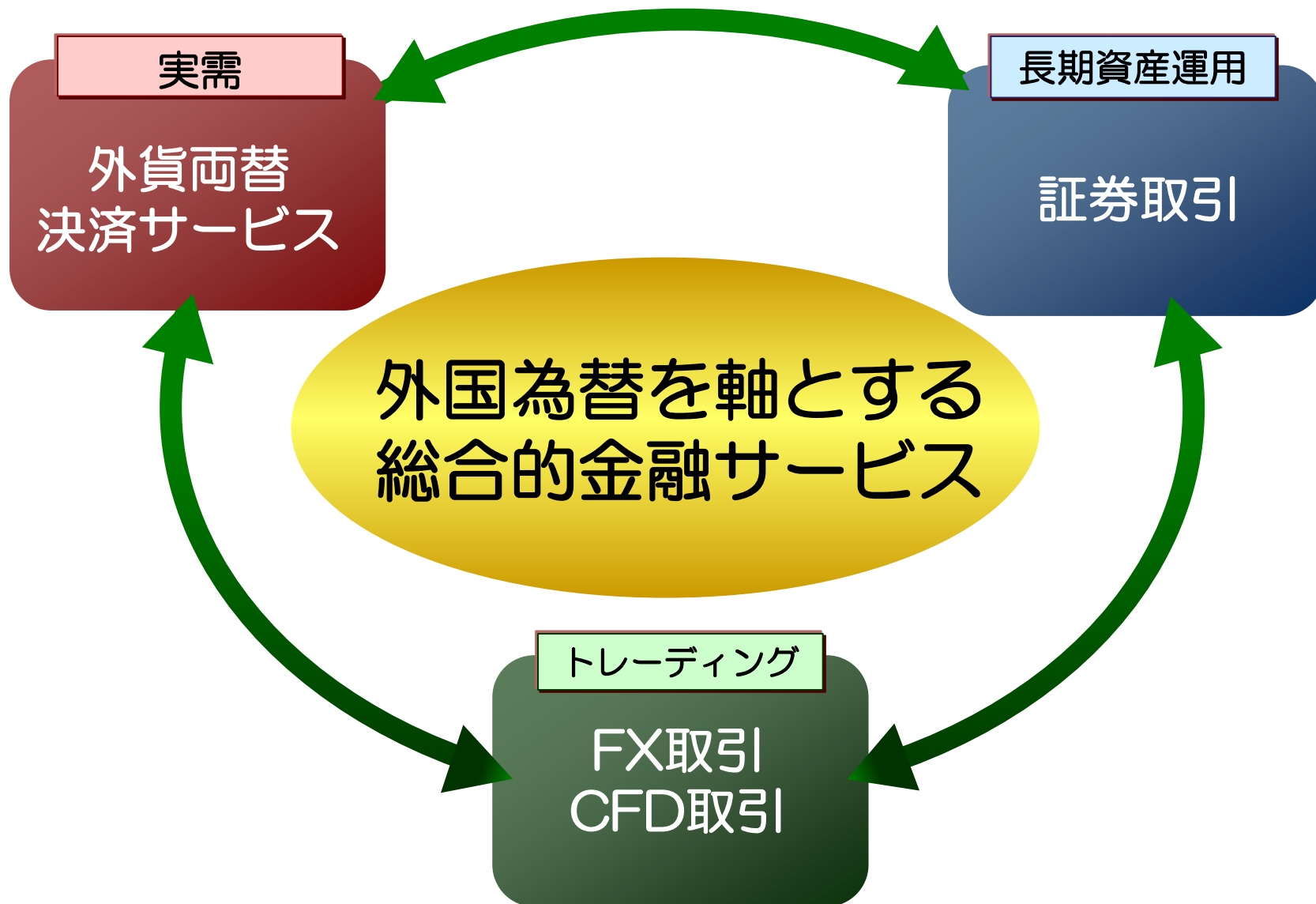
- ★ 収益性継続の改善

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み



VI. 当社の株主還元について





株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向・・・連結当期純利益の**30%**を目処 配当機会・・・**中間及び期末**（年2回）

	2014年3月期				2015年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	247	119	96	200	21	117	325	314
上段:3ヶ月	247	366	463	663	21	139	465	780
下段:累計								
配当金の総額 (百万円)	90		120		45		197	
期末発行済 株式総数(株)	322,110 (内、自己株式20,023)		32,223,000 ※1 (内、自己株式2,002,300)		32,241,000 (内、自己株式2,002,300)		32,459,900 (内、自己株式2,002,300)	
1株当たり 中間・期末 配当金	300円		4円		1.5円		6.5円	
年間	7円 ※2				8円			

※1 2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

※2 2014年3月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、1株当たりの配当金額を算出しております。

参考資料



販管費推移
収益構造
FX取引の仕組み
グループ概要



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位：百万円

	2014/3期				2015/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
取引関係費	259	224	240	293	214	249	311	296	▲4.6%
人件費	257	234	231	242	225	233	246	245	▲0.5%
不動産関係費	154	153	146	154	154	161	156	158	1.3%
事務費	283	226	224	226	189	213	249	244	▲2.0%
減価償却費	122	111	99	98	94	94	95	96	0.6%
租税公課	15	13	13	15	15	18	17	21	18.0%
貸倒引当金繰入れ	—	—	—	0	—	—	—	—	—
その他	19	10	8	8	17	10	10	13	32.3%
販売費・一般管理費合計	1,112	973	964	1,039	912	981	1,086	1,075	▲1.1%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	79	83	112	158	91	113	132	118	▲11.1%
システム関連費用(※2)	349	285	268	290	247	285	332	330	▲0.4%

※1 取引関係費の一部となります。

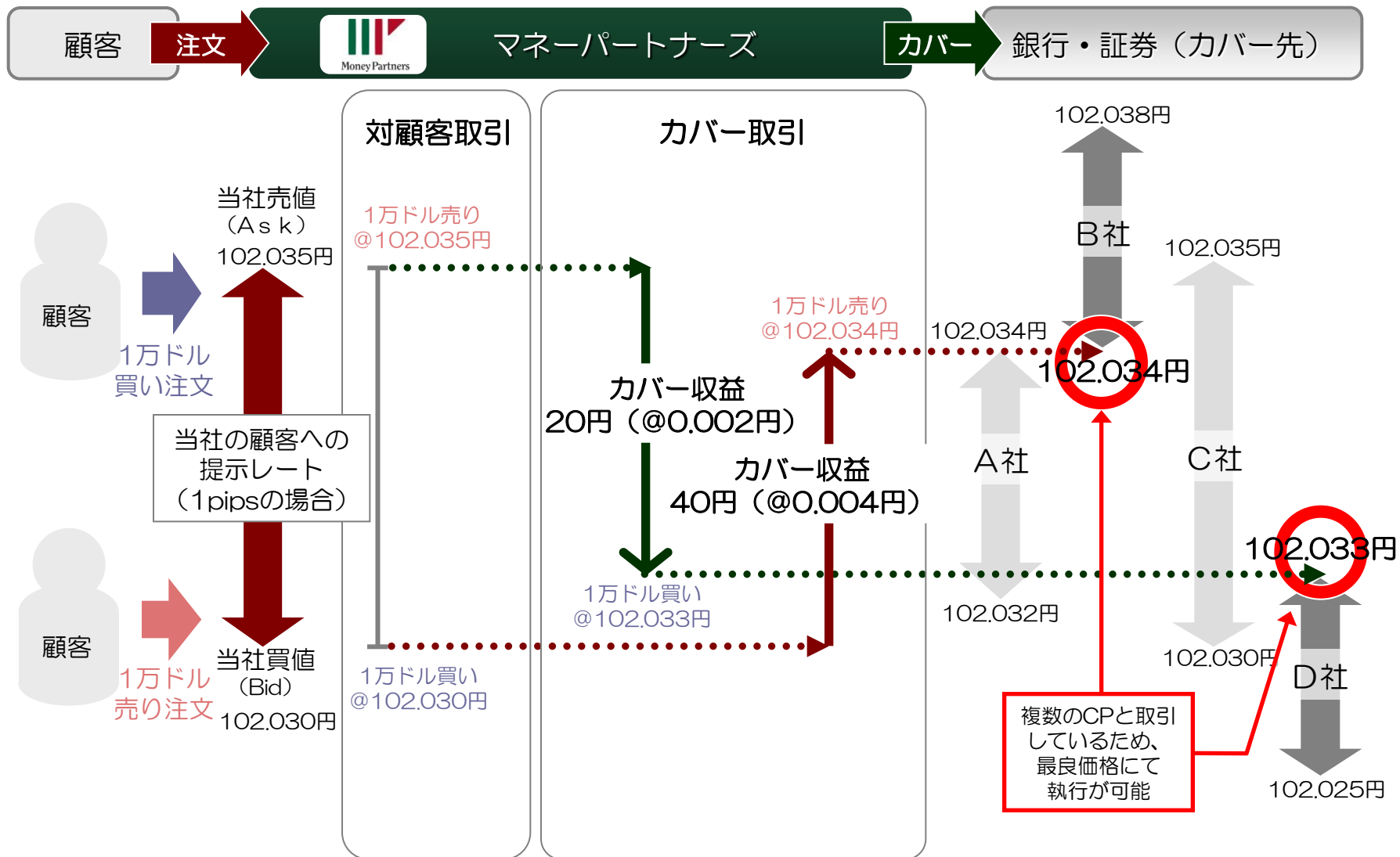
※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

変動費である取引関係費は取引高減少による減少はあったもののスポット費用の発生があり
 広告宣伝費の減少分を除けばほぼ前期比横這いで推移。固定費（人件費、不動産関係費、
 事務費等）も前四半期と比べ大きな異動はなく、ほぼ横這いに。



当社グループの収益構造

Money Partners Group





FX取引の仕組み

Money Partners Group

1ドル=100円の場合

ドル高・円安と予想

ドル安・円高と予想

ドル/円を1万通貨単位『買い』

(為替レート)

ドル高・円安
の進行

1ドル=101円
(値上がり)

売り=1万米ドル
(円換算101万円)

101万円-100万円=
1万円の利益

ドル/円を1万通貨単位『売り』

(為替レート)

ドル安・円高
の進行

1ドル=99円
(値下がり)

買い=1万米ドル
(円換算99万円)

100万円-99万円=
1万円の利益

どちらからでも
取引開始が可能



グループ概要（平成27年3月31日現在）

■商号	株式会社マネーパートナーズグループ
■本社	〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
■代表者	代表取締役社長 奥山 泰全
■設立日	2005年6月10日
■資本金	18億2,272万円
■純資産	109億円
■発行済株式総数	32,459,900株



■当社グループの事業内容

株式会社マネーパートナーズ（100%子会社）

加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
日本商品先物取引協会 一般社団法人日本資金決済業協会

登録番号：関東財務局長（金商）第2028号

事業内容：

- (1) 金融商品取引業
- (2) 外貨両替業
- (3) 資金移動業
- (4) 商品先物取引業

株式会社マネーパートナーズソリューションズ（100%子会社）

事業内容：

- (1) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守
- (2) 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング
- (3) 前各号に関連する企画、調査、研究、コンサルティング及びこれに付帯関連する一切の業務



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年5月24日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2015年5月24日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能なため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.7%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,700円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会 一般社団法人日本資金決済業協会